



百日咳の報告数は減少傾向 咳が続く場合は早期受診を！

令和元年 8月7日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年 第31週分・7月29日～8月4日)

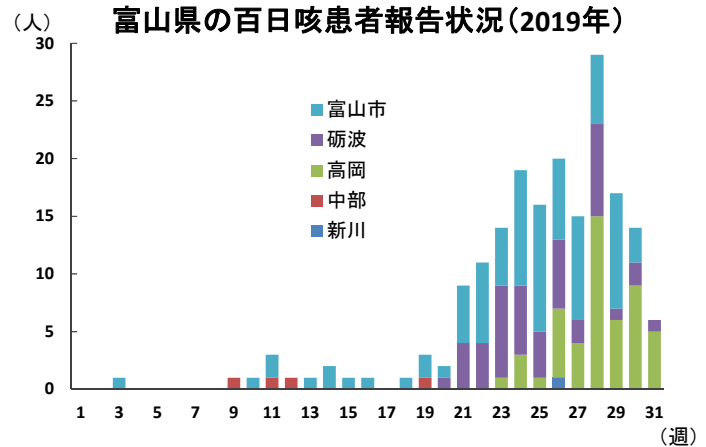
《インフォメーション》

●百日咳

今週、百日咳の患者報告数は6人でした。第21週以降、報告数が多い状況が続いていましたが、第29週から3週連続で減少しました(図参照)。患者の多くは小学生の年代であったことから、夏休みに入り、学校での感染の機会が減少した影響と推察されます。しかしながら、夏休み期間中も登校日や地域のイベントなど、小学生が集まる機会は多く、引き続き百日咳の流行について注意が必要です。

わが国では、2012年から百日咳・ジフテリア・破傷風混合(DPT)ワクチンに不活化ポリオワクチンを加えた四種混合(DPT-IPV)ワクチンが定期接種として導入されています。百日咳ワクチンの接種により、発症予防効果が期待されます。しかし、その免疫効果は最終接種後、時間経過に伴い減弱します。報告された学童期の患者の多くも、ワクチン接種歴があることがわかっています。そのため、日本小児科学会は、就学前にDPTワクチン(任意接種)を追加接種することを推奨しています(詳細は、学会のホームページをご参照ください)。

感染拡大防止のためには、早期の診断、治療が必要です。咳が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。また、咳が続く人はマスクを着用することで感染拡大を防止することが大切です。



《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 10件 (①40歳代、女性 ②③共に50歳代、男性 ④⑤共に60歳代、男性 ⑥60歳代、女性 ①～⑥全て第30週診断分 ⑦50歳代、女性 ⑧60歳代、男性 ⑨60歳代、女性 ⑩70歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3件 (①20歳代、男性 ②20歳代、女性 ③60歳代、女性 ①～③全てO157、VT1VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (50歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (80歳代、男性)
急性弛緩性麻痺 1件 (第30週診断分：10歳未満、男性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第30週診断分：30歳代、男性、G群)
水痘(入院例) 1件 (70歳代、女性)
百日咳 6件 (①②共に10歳未満、男性 ③10歳代、男性 ④⑤共に10歳代、女性 ⑥40歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	8.24(↓)	15.86
2位	感染性胃腸炎	2.83(↓)	3.21
3位	ヘルパンギーナ	2.00(↓)	5.28
4位	RSウイルス感染症	1.69(↑)	1.41
5位	伝染性紅斑	1.38(↓)	2.10
6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.97(↓)	1.10

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第31週 令和元年7月29日～令和元年8月4日）

分類	疾患	今週報告分（第31週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核	2		1	1		4	19	8	29	24	32	112	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				3		3		1	4	4	6	15	
四類感染症	E型肝炎							2		1			3	
	A型肝炎							1					1	
	つつが虫病							1					1	
	レジオネラ症			1			1	2		11	6	13	32	
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3	
	ウイルス性肝炎									1			1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1			3	1	1	5	
	急性弛緩性麻痺									1			1	
	急性脳炎											2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	6	11	
	後天性免疫不全症候群											4	4	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5	
	侵襲性肺炎球菌感染症									8	8	8	24	
	水痘（入院例）		1				1	1	2			5	8	
	梅毒									2	1		13	16
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	破傷風									1			1	
	百日咳			5	1		6	1	4	50	47	86	188	
	風しん								1			3	4	
	麻疹									1	2		3	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							1,427	912	3,154	1,691	3,682	10,866
		RSウイルス感染症		4	6	3	36	49	13	30	66	27	162	298
		咽頭結膜熱	3	1	3		2	9	145	21	221	50	178	615
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.75	0.33	0.38		0.20	0.31							
感染性胃腸炎		1	1	14	3	9	28	104	109	528	230	928	1,899	
水痘		0.25	0.33	1.75	0.75	0.90	0.97							
手足口病		19	12	28	3	20	82	915	729	1,142	451	2,794	6,031	
伝染性紅斑		4.75	4.00	3.50	0.75	2.00	2.83							
突発性発しん				1			1	18	13	43	11	227	312	
ヘルパンギーナ				0.13			0.03							
流行性耳下腺炎		32	26	85	20	76	239	122	198	958	251	1,072	2,601	
急性出血性結膜炎		8.00	8.67	10.63	5.00	7.60	8.24							
急性出血性結膜炎		1	5	6	8	20	40	103	55	399	102	461	1,120	
突発性発しん		0.25	1.67	0.75	2.00	2.00	1.38							
ヘルパンギーナ			2	9		3	14	23	29	145	30	121	348	
流行性耳下腺炎			0.67	1.13		0.30	0.48							
流行性角膜炎		7	8	29	7	7	58	105	94	194	53	182	628	
急性出血性結膜炎		1.75	2.67	3.63	1.75	0.70	2.00							
急性出血性結膜炎						1	1	2	7	8	1	20	38	
急性出血性結膜炎						0.10	0.03							
急性出血性結膜炎			1			1	1	9	25	28	7	70		
細菌性髄膜炎			0.50			0.14								
細菌性髄膜炎											4	4		
無菌性髄膜炎							2				1	3		
マイコプラズマ肺炎								2	2			4		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18		
インフルエンザによる入院患者（*）							42	42	52	98	101	335		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。